

基本政策Ⅶ	いきいきと学び、活動するための環境づくり	達成 状況	B
-------	----------------------	----------	---

現状と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・社会の様々な変化に対応していくためには、市民が自ら学び、生活を向上させる「学ぶ力」を育成することが求められます。 ・地域のつながりの希薄化が指摘されている現状では、相互に理解し協力して地域社会で生きていくための「つながる力」が必要であり、社会教育を通じて「絆」づくりを促進していく必要があります。 ・地域の課題などが多様化している中で、各個人が学び、つながった成果を活かして地域の課題を解決する「市民力」の形成が求められています。 ・より多くの市民を学びと活動の循環へ取り込み、さらに市民の学びを活動へつなげるために地域の大学など様々な主体と連携を強め、各区の特色を活かしながら「学ぶ力」「つながる力」「市民力」を育成し、様々な社会教育振興事業を推進する必要があります。さらに、地域の中で自ら社会教育を担っていくことができる人材を育成する必要があります。 ・生涯学習の拠点作りとして、社会教育施設の老朽化への対応など生涯学習環境の整備を進めていくとともに、職員の専門性や資質を向上することが必要です。また、図書館においては、地域における読書活動の支援をさらに推進する必要があります。

政策目標
<p>市民の「学ぶ力」を育み、市民の自治力の基礎を培うため、自ら課題を見つけ、自主的に学び、その成果を活かす学びの機会提供を促進します。</p> <p>社会教育の展開を通じて、市民の学びを通じた出会い（「知縁」）を促進し、それが新たな「絆」「つながり」を生み出すよう支援するとともに、地域における社会教育の担い手を育成していきます。</p> <p>社会教育施設の長寿命化の推進など生涯学習環境の充実を図ります。</p>

主な取組成果
<p>市民自治の実現を担う人材を育成するため、大学等高等教育機関との連携を進めるとともに、教育文化会館・市民館・分館において、市民自主学級・市民自主企画事業等、様々な社会教育振興事業を実施しました。</p> <p>市立図書館ホームページのスマートフォン版の開発を行い、市民の利便性向上を図りました。</p> <p>市民の生涯学習や地域活動の拠点である社会教育施設について、安定的・継続的な施設運営を図るため、幸文化センター空調設備改修工事や麻生市民館大ホール設備改修工事などの改修・補修を計画的に行いました。また、川崎区の市民館機能のあり方を検討し、平成30年3月に再編整備の方向性をまとめました。</p>

参考指標					
※ 基本政策の目標の達成度を評価する際に参考とするための数値であり、この数値のみをもって基本政策の成果とするものではありません。基本政策の評価は、事業の進捗状況等を踏まえて総合的にを行います。					
指標名	実績値	H27	H28	H29	目標値(H29)
教育文化会館・市民館・分館の社会教育振興事業参加者数	81,432人 (H25)	79,326人	89,677人	84,304人	85,000人
教育文化会館・市民館・分館で実施する各種社会教育事業（学級、集会など、家庭教育振興事業は除く）に参加した人の数【出典：教育文化会館・市民館活動報告書】					
社会教育振興事業を通じて新たなつながりが増えた割合	—	67.5%	70.4%	67.1%	平成27年度実績の5%増 (72.5%)
教育文化会館・市民館・分館で実施する各種社会教育事業（学級、集会など、家庭教育振興事業は除く）を通じて新しい知り合いが増えた人の割合 ※事業参加者を対象に平成27年度からアンケート実施【出典：川崎市教育委員会調べ】					
市立図書館図書タイトル数	81万件 (H25)	83万件	84万件	85万件	85万件
川崎市立図書館全館の所蔵図書の全タイトル数。所蔵図書の多様性を表す指標【出典：川崎市教育委員会調べ】					

主な課題

「社会教育振興事業への参加者数」や「社会教育振興事業を通じて新たなつながりが増えた割合」が減少している中、より多くの方に参加していただける事業の実施が必要です。また、市民による地域の学びのコーディネート等を行う人材の育成をするとともに、市民による地域の学びの機会提供や学習の成果を地域へ還元できる仕組みの構築が必要です。

市立図書館の入館者数が減少していることから、その要因を分析し、市民ニーズに応じた図書館サービスを検討する必要があります。

市民の生涯学習や地域活動の拠点としての社会教育施設が老朽化していることから、劣化状況に基づく、長寿命化の推進が求められるとともに、工事期間中等の市民利用への影響を最小限に止めるよう、計画的な改修・補修が求められます。

市民・地域の課題解決を支援する機能の充実など、市民サービスの向上に向けて、社会教育施設の管理運営における民間活力の適正な活用について検討を進める必要があります。

教育改革推進会議における意見内容

地域にはいろいろな経験や知識を有する方々がいるはずであるが、それらを教える機会や人材を発掘することが少ないと思われるため、コーディネートする人材の育成は重要な取組である。

市民館については、児童生徒の保護者は利用する機会がある一方で、子どもが卒業すると保護者が利用する機会がなくなるため、子どもが卒業してからも利用したくなるような仕組みや魅力的な講座などがあるとよい。

社会教育施設運営への民間活力の活用について、地域との深いつながりや密な連絡調整ができなくなるようなことがないよう、量的なものだけでなく、質的なサービス向上を見据えた検討が必要である。

今後の取組の方向性

市民館での市民ニーズに則した魅力的な講座や地域の課題解決につながる企画の実施等を通じて、市民の自主的な学習や活動をコーディネートしていく人材を育成し、地域活動のネットワーク化を図ることで、さまざまな市民の社会参加と知縁づくりに努めます。

教育文化会館の市民館機能を労働会館の1階～3階に移転する方針が決定したことから、平成34(2022)年度の供用開始をめざし、川崎区における生涯学習の拠点としての市民館機能の整備を行います。

社会教育施設の市民サービス向上を図る効率的・効果的な運営のため、民間活力の適正な活用について検討します。

施策1 自ら学び、活動するための支援の充実

概要 区役所や関係部局、大学、NPO等と連携しながら、市民が自ら学び、学んだ成果を地域づくりや市民活動に活かす生涯学習事業を展開し、知縁による新たな絆、コミュニティを創造するとともに、市民自治の実現を担う人材を育成していきます。

事務事業名	社会教育振興事業		
担当課	生涯学習推進課	関係課	
事業の概要	教育文化会館・市民館・分館において、市民の学習や活動の支援、社会教育に係る団体やボランティアの育成、市民のネットワークづくりなどを行うとともに、学習の成果や地域の人材資源の活用を図り、市民の力による地域の教育力とまちづくり力の向上を図ります。		
	H27	H28	H29
事業計画	学習の成果を地域へ還元する人材や、市民自らの手で学習や活動をコーディネートしていく人材の養成に向けた検討	→	
	寺子屋コーディネーターの養成	→	
	社会参加・共生推進学習事業の実施	→	
	市民自治基礎学習事業の実施	→	
	市民学習・市民活動活性化学習事業の実施	→	
	市民・行政協働、ネットワーク学習事業の実施	→	
	社会や地域のニーズに対応した学習事業の実施	→	
	視聴覚教材の活用等学習環境整備事業の実施	→	
	大学等高等教育機関との連携促進	→	
	学習相談事業の実施	→	
実施状況			
<ul style="list-style-type: none"> ● 教育文化会館・市民館・分館において、様々な社会教育振興事業を実施しました（受講者84, 304名）。 ● 寺子屋のコーディネーター養成については、複数館で連携をして市内3か所で開催しました。 ● 大学等高等教育機関と連携し、市民への生涯学習機会の提供に努めました。 			
課題と今後の取組			
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の教育力等の向上を図るため、引き続き、様々な事業を実施して多くの方の参加を目指し、市民による地域の学びのコーディネート等を行う人材の育成に向けた取り組みを進めていきます。 			

事務事業名	図書館運営事業		
担当課	生涯学習推進課	関係課	
事業の概要	市民の読書要求に応える読書施設としての機能に加えて、地域情報や生活情報などあらゆる分野で市民が必要とする資料や情報の提供発信を行います。		
	H27	H28	H29
事業計画	多様な市民ニーズに応えるための資料の充実・タイトル数の確保	→	
	課題解決に役立つ地域資料等の広範な資料の収集・提供	→	
	ICT機器を活用した効率的な図書館運営管理	→	
	図書館総合システムの円滑な稼働の推進	→	
	来館困難者や視覚障害者等への支援サービス実施	→	
実施状況			
<ul style="list-style-type: none"> ● 平成28年度から引き続き、全館の選書担当者が定期的に中原図書館に集い、所蔵の是非や所蔵冊数等を検討した上で図書資料を購入し、市民ニーズに応えた適正な資料整備を行いました。 ● 課題解決に役立つ地域資料等の広範な収集・提供、また、ICTを活用した効率的な運営、図書館総合システムの円滑な稼働、来館困難者や聴覚障害者等への支援サービスの実施等、継続して行いました。 ● 市立図書館ホームページのスマートフォン版の開発を行い、市民の利便性向上を図りました。 			
課題と今後の取組			
<ul style="list-style-type: none"> ● 今後も引き続き市民の広範な読書要求に応え、市民の課題解決に資するよう、引き続きそれぞれの事業を推進していきます。 			

施策2	生涯学習環境の整備
概要	市民の主体的な学びを支援するため、学校施設の有効活用を促進するとともに、社会教育施設の長寿命化を推進し、生涯学習環境の充実を図っていきます。

事務事業名	生涯学習施設の環境整備事業		
担当課	生涯学習推進課	関係課	
事業の概要	市民の生涯学習や地域活動の拠点として、生涯学習施設の環境整備に取り組みます。		
	H27	H28	H29
事業計画	劣化状況に基づく、生涯学習施設設備の長寿命化対策の推進 社会教育施設の管理運営における民間活力の適正な活用方法の検討 学校施設の有効活用や学校施設を活用した生涯学習事業の実施		  
実施状況			
<ul style="list-style-type: none"> ● 幸市民館空調設備改修工事（2箇年目）、麻生市民館大ホール設備改修工事、高津図書館屋上防水・外壁工事、生涯学習プラザ空調改修工事、八ヶ岳少年自然の家屋根改修工事等を実施しました。 ● 市民館・図書館における新たな管理運営のあり方について、委託実施の可否について整理するため、委託業務範囲の精査、職員体制について検討するとともに、分館業務の実態調査等行いました。 ● 川崎区の市民館機能のあり方を検討し、労働会館内に移転することを決定しました。 ● 学校施設の活用については、平成29年度は校庭140校、体育館165校、特別教室135校で開放を行うとともに、生涯学習事業を実施する取組なども行いました。 			
課題と今後の取組			
<ul style="list-style-type: none"> ● 生涯学習施設設備の安定的・継続的な施設運営を図るため、関係局と連携・調整し、休館等を伴う市民館利用への影響を最小限に止めるよう、計画的に改修・補修を行います。 ● プラザ館（市民館・図書館分館）の管理運営における民間活力の適正な活用については、引き続き検討します。 ● 引き続き、学校施設の有効活用をはかり、市民の活動を支援していきます。 			

事務事業名	社会教育関係団体等への支援・連携事業		
担当課	生涯学習推進課	関係課	
事業の概要	地域における生涯学習の主体として、社会教育関係団体・市民活動組織・NPO等の活動を支援するとともに、相互の連携を図りながら市民と行政の協働によるまちづくりを推進します。		
	H27	H28	H29
事業計画	関係団体との協働や他都市との交流事業など、各種生涯学習機会の提供の支援		→
	シニア活動支援事業への支援		→
	市民のニーズに応じた多彩な体験講座等の実施への連携		→
	全市的な生涯学習情報の収集と効率的な提供に向けた情報提供システム構築の支援、連携		→
実施状況			
<ul style="list-style-type: none"> ● 生涯学習財団やPTA、川崎市女性連絡協議会等の活動に対して、生涯学習機会の提供に向けた支援を行いました。 ● 市民の生涯学習情報の収集と提供について、生涯学習財団と連携して進めました。 			
課題と今後の取組			
<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続き、各種団体への支援を行うとともに、連携しながら市民と行政の協働によるまちづくりを推進していきます。 			